学校番号	T3011

令和２年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　新編国語総合」　（第一学習社）						
副教材等	自作プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年生では、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けるとともに、考えたことを発信していく力をつけていきましょう。
・古典では有名な古文を読んで、その歴史的な背景を知り、語彙や文法の知識を高めましょう。
・語彙を増やし、「読む力」「書く力」を伸ばす努力をしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を用いて、適切に思いや考えを表現することができる。
・人の気持ちを理解し、適切なコミュニケーションができる。
・伝統的な言語文化に親しみ、現代に息づく古典の精神に気づくことができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b：話す・聞く	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞きとったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および、言葉の特徴や決まり、漢字などについて理解し、知識を見につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート・ワークシート）	・行動の観察（発表等の評価）	・記述の確認および分析（ノート・ワークシート）	・記述の確認および分析（ノート・ワークシート） ・定期考査 ・小テスト	・行動の観察 ・記述の確認（ノート・ワークシート） ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

考査	単元	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
考査Ⅰ	新しい出会い	「身近な動植物の名前を覚えよう」（河合雅雄）	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	・随想の読み方を学ぶ。 ・名前の持つ働きについて考える。 ・身近な世界に目を向けるきっかけとする。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	人間の風景	「十六歳のとき」(星野道夫)	○	○		○ ○	○ ○	・随想の読み方を学ぶ。 ・同年代の若者の心象に触れ、自らの人生について考える姿勢を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
考査Ⅱ	物語を楽しむ	「伊勢物語」	○			○ ○ ○	○ ○ ○	・歌物語を読み、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・和歌を味読し、修辞技巧を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
考査Ⅲ	小説を読む二	「鏡」（村上春樹）	○ ○	○	○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	・読解力を養う。 ・登場人物の性格、心理、行動を的確に読み取る。 ・一人称の語りの持つ効果を感がる。 ・「僕」の感じた恐怖について話し合う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	漢文入門	訓読に親しむ	○ ○		○	○ ○	○ ○ ○ ○	・漢文に親しむ。 ・漢文の構造を理解し、漢字、漢語の正しい意味や用法を理解する。 ・訓読などのきまりを理解する。 ・古代中国の文化や思想を知り、比較を通して日本文化をより深く理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
	随筆を読む	「徒然草」（兼好法師） 「方丈記」（鴨長明）	○ ○	○		○ ○ ○	○ ○ ○ ○	・人間や社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・表現の特色を理解し、親しむ。 ・日本文化の特質を考える。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査
考査Ⅴ	小説を読む三	「ほねとたね」（川上弘美）	○	○		○ ○ ○	○ ○ ○	・短編小説の読解方法を学ぶ。 ・登場人物の性格、心理、行動を的確に読み取る。 ・現代小説に触れ、小説を自分に引き付けながら読む姿勢を養う。	・授業態度 ・発問評価 ・提出物 ・定期考査

※　表中の観点について
　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち、「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を付している。

※　その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。